

東北支援を呼びかけ ～障害者フェス～

2014年9月28日 / 金沢市の県産業展示館4号館

石川県障害者ふれあいフェスティバルが9月28日、金沢市の県産業展示館4号館で開かれ、ネットワークさくらが「がんばれ東北支援コーナー」を開設しました。福島県の喜多方ラーメンや岩手県の南部せんべい、宮城県の油麩(ふ)などの東北産品10品目を販売。福島県いわき市の平商業高校の生徒たちがプロデュースしたラムネ飲料「フラムネ」やオリジナル菓子「めひかりんとう」「かつりんとう」も人気を集めました。また、福島県いわき市久之浜町の仮設商店街「浜風商店街」に贈る押し花のしおりも制作され、同商店街が販売している花の栽培セット「復興の花」を育てて作った押し花で、ネットワークさくらの理事で金沢市の押し花作家、中川千嘉さんの指導を受けながら、親子連れが復興の思いを込めてしおりに仕上げました。



“商店街”で東北産品販売

2014年10月12日 / 金沢市千日町通り

ネットワークさくらは10月12日、金沢市千日町で開かれた一日限りの“商店街”イベント「かなざわ近所コラボマーケット」に出店。東北の産品を販売して被災地支援を呼び掛けました。同時に、東北の花でしおりを仕上げる押し花教室も開きました。



千日町通りは、藩政期に木材を尾山御坊から金石まで運んだ旧街道で、昭和30年代ごろまで多くの商店が立ち並んでいました。2年目となる今年は、かつての商店のガレージや寺院の敷地を借りて25店舗が出店。手作り雑貨や県内各地の特産品も並び、家族連れらでにぎわいました。千日町と白菊町の住民でつくる「かなざわ近所コラボプロジェクト」の主催。



さくら通信 vol.5

2014年11月発行。内容の詳細はホームページよりご覧いただけます。



Activity report

「その時どう動く? 私たち」～防災講座で学ぶ～
 石川県障害者ふれあいフェスティバル
 商店街で東北産品を販売、他

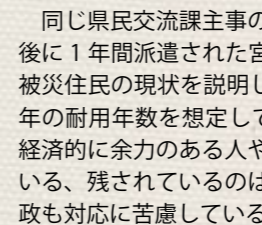
「その時どう動く? 私たち」～防災講座で学ぶ～

2014年8月30日 / 石川県女性センター

ネットワークさくらは8月30日、「その時どう動く? 私たち」と題した自主防災講座を金沢市の石川県女性センターで開き、会員らが災害時にできる支援の在り方について考えました。



まず、石川県県民交流課嘱託の村上明さんが災害発生時の行政の役割と題して講演。村上さんは2007(平成19)年3月、輪島市などで最大震度6強を記録した能登半島地震で、県が立ち上げた災害対策本部で対応した体験に基づき、行政の「公助」と住民の「自助」、ボランティアなど民間との連携による「共助」の意義を説明しました。その上で「『中間支援組織』は、地域社会における多様な構成員が課題と目的に基づいて機能するために相互につなぐ組織であり、そのために必要な資源や技術を提供する。行政と企業、NPOの関係の中で力の弱い側を支援する“仲介者”として着実な活動を進めてほしい」とエールを送りました。



同じ県民交流課主事の番匠佳奈さんは、東日本大震災の発生後に1年間派遣された宮城県名取市閑上地区で対応に当たった被災住民の現状を説明しました。それによると、仮設住宅は2年の耐用年数を想定しているため住環境の悪化が進んでいる、経済的に余力のある人や若い人は比較的早い段階で仮設を出ている、残されているのはお年寄りなど社会的弱者ばかりで、行政も対応に苦慮しているということでした。



勉強会では、4～5人ごとの3つのグループに分かれ、カードによる段階的意見集約でアイデアを具体化する“カード展開型”のワークショップで意見を交わしました。テーマは減災・防災のために「ネットワークさくらができること」。自由に意見をカードに記述してもらい、各グループの取りまとめ役が中心となって、アイデアをブレインストーミング法で分類。お互いに問いかけを重ねて集約した意見を視覚的に提示できる“行動計画”に仕上げ、それぞれが結果発表に臨みました。(中面参照)



入会・ご支援のお願い



ひとたび大きな災害が起きれば全ての住民が被災者になります。東日本大震災を教訓に、被災した人々を支援し、ボランティア活動を担う人材育成や私たち地域住民が助け合う仕組みづくりに取り組んでいきたいと願っています。「誰のために、何のために」するのかを常に考え、「顔の見える活動」を続けて参ります。

私たち・NPO法人「災害支援ネットワークさくら」の設立趣旨に賛同して入会していただける方は「正会員」として、活動をサポートしていただける個人・団体の皆様は「賛助会員」としてご支援をお願い申し上げます。

正会員は年会費1万円で、総会での議決権を有し、イベントや物販で会員特典が受けられます。賛助会員の年会費は5千円で議決権はありません。郵便局、または事務局にある払込取扱票に・お名前・お電話・ご住所・メールアドレスをご記入の上、お近くの郵便局でお振り込みください。

●ゆうちょ銀行

記号 /00760 番号 /9-45422

【加入者名】
災害支援ネットワークさくら

◇◇◇詳しくは◇◇◇

「災害支援ネットワークさくら」事務局までお問い合わせください。

TEL : 090-1390-3678
FAX : 076-259-6971

つなげよう、支え愛の心

NPO法人
災害支援
ネットワークさくら

〒921-8151
石川県金沢市窪5-571
TEL : 090-1390-3678
FAX : 076-259-6971
http://sakurapj.jp/